

浸水が迫る中、スムーズな避難行動と 食事の工夫で危機を乗り切る

特別養護老人ホームやまのべ荘の災害対応の実際

2020年(令和2年)7月3日から31日にかけて、梅雨前線や低気圧の停滞により日本各地に発生した「令和2年7月豪雨」は全国の多くの地域に甚大な被害をもたらしました。山形県の特別養護老人ホームやまのべ荘(以下やまのべ荘)では、7月26日から29日にかけて、大雨により付近の須川に流れこむ用水路が氾濫し、建物に浸水の危機が迫りました。

しかし、やまのべ荘は水害への備えとして、2階建ての避難棟を設置しており、入居者様を全員「避難棟」に避難させ、食事提供の工夫等により体調をくずす方もなく事なきを得たということです。幸いにも直接の浸水被害を免れましたが、今回の体験から感じた課題や苦労したこと、今後の災害対策等についてやまのべ荘の職員の皆様にお話をお伺いしました。



● 施設が浸水してしまう可能性があり避難棟を建設

当施設がある地域は豪雨により須川が氾濫すると、国の調査では**最大2m 80cmまで浸水する**恐れがあるとされています。当施設は平屋建てであり、氾濫すると天井まで浸水する可能性があります。そのような背景から水害対策として、敷地内に2019年4月、2階建ての「**避難棟**」を建設しました。この度の豪雨の際は、2020年7月28日に行政(山辺町)からの避難勧告を受けて、入居者様全員を避難棟へ避難させました。16時前には敷地内駐車場の一部が冠水し外部からの出入りが出来ず孤立状態になりました。幸い建物への浸水被害は免れましたが、安全を考慮しそのまま一晩**避難棟で過ごしました**。



↑2階建ての避難棟。



↑敷地内駐車場の一部が冠水するも、施設建物への浸水被害なし。7月28日夕方以降、職員は帰宅できなかった。



↑避難棟の2階フロア。入居者様100名ほどが避難した。

● 避難棟への避難状況

7/28 12:17 洪水警報発令(12:56 山辺町より避難勧告)

7/29 02:00 避難勧告解除

13:10 避難棟への移動開始

→ 15:10 移動終了

→ 17:30 夕食の供給

→ 06:00 帰室開始

7月28日12時17分に**洪水警報**が発令され、12時56分に行政(山辺町)から**避難勧告**がありました。その日の午前中には雨の様子をみてスタッフによる対策会議なども行い準備を進めていたため、13時10分には**100名ほどの入居者様の避難棟への移動が開始**できました。ベッドのままエレベーターで誘導した方もいたため、避難完了まで2時間ほどかかりましたが、避難行動自体はスムーズに行うことができたと思います。

7月29日未明には雨は弱まり、午前2時に**避難勧告解除**となり、早朝6時に帰室を開始しました。

◎ 避難棟での食事状況

避難棟は100名が入ると少し手狭になってしまい、通常の食事の提供方法や食事介助が難しい状況にありました。**負担軽減を考慮**し、使い捨て容器を用いました。また栄養価をあまり落とさないよう配慮しながらメニューを**コンパクト**にするよう心がけました(写真)。また必要に応じて**栄養補助食品**も活用しました。



避難棟での夕食の献立

食べやすいように品数を減らして対応

- ご飯
- 味噌汁
- 副1)大根のそぼろ煮
- 副2)マカロニサラダ
- 栄養補助食品*

*スパウト容器タイプのゼリーを必要に応じて提供



◎ 総合栄養タイプのスパウト容器タイプのゼリーを活用

避難棟での食事は、通常使用している机や椅子ではないため、普段自力摂取している方でも食事介助が必要となったり、日常の雰囲気との違いから食事が進まない方などが増え、マンパワー不足の懸念がありました。そこで未採用品でしたが、**ゼリーを切ったり、とろみをつける必要がなく、簡単に栄養補給と水分補給が出来る総合栄養食品であるスパウト容器タイプのゼリー**を急遽卸店に注文しました。事情をご理解いただき、雨の中迅速に届けていただいたので、夕食時にはとろみが必要な方や食事が進まない方など、**約40名の入居者様に提供**することができました。



↑避難棟での食事風景。

POINT 【今回の災害を経験して重要だと感じたこと】

● 他施設との連携を強化

… 避難棟で数日間過ごすことは困難だと感じたため、数日間の避難が必要な際はスムーズに他に移動できるよう**他施設との連携強化**を図りたい

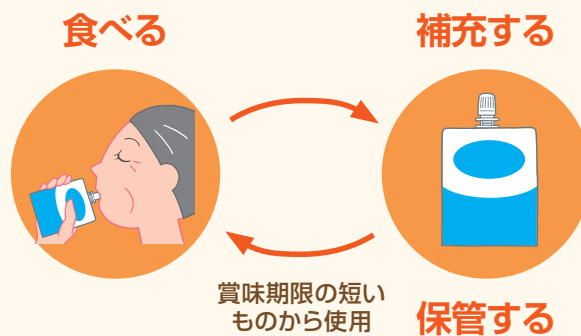
● 早めの人手確保と食事提供の省力化

… 災害時の人手確保は大きな課題であるため、災害が予想される場合は**早めの人手確保と食事提供の省力化**を図ることができる工夫を検討したい

● 栄養補助食品のローリングストック

… 特に**スパウト容器タイプのゼリー**は、緊急時の必要性を強く感じたため、現在はスパウト容器タイプのゼリーを右図のように**約3日分ローリングストック方式で常備**している

ローリングストック方式のイメージ例



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部山形県済生会 やまのべ荘 (山形県東村山郡山辺町)

やまのべ荘は、平成元年4月、山形県済生会第2番目の特養として山辺町に開設、平成24年7月には町民の熱望により地域密着型特養が増設され、従来型特養とユニット型特養を併設する施設となりました。施設内には隣地の山辺温泉1号源泉を引湯しているため温泉入浴が楽しめるようになっています。